

#### 4.4 加速器計画の進め方

##### (1) 上坪委員

##### (2) 加速器建設と競争的研究資金枠の拡大

文科省

大型加速器の建設は、必ずその建設の目的となる、研ぎ澄まされた研究計画が基礎となっている。またその計画が出されるときは、世界的な見地から必要とされるタイミングでだされる。すなわち計画通りに完成することにより、最大の成果が得られるものである。~~そのためには、~~計画の策定に当たっては十分時間を使って、あらゆる方向から議論を進めることが必要である。その上で、建設計画が発足した場合には、遅れなく建設が進むよう予算処置をすべきである。

このように着実に将来の方向を見定め、計画の妥当性と種々の計画を効率よく進めるための順位付けを行う国の組織がないのが現状である。今後、世界の一翼をになって加速器科学を進める必要がある我が国として、透明性の高い方法で加速器科学の方向を定めることが肝要である。

文科省

我が国における加速器計画を広く検討し、加速器利用分野ごとの将来も見据え、建設計画を精査し建設予算計画のストラテジーを検討することをはじめ、ひろく我が国の加速器の研究や利用の方針を検討するための場を設定する。加速器施設建設に加えて、研究施設、実験装置、研究費などが十分に提供されなければ、これもまた施設建設の意味が失われる。本来、研究施設の計画とは、施設の建設、維持、高度な利用、絶え間ない改良発展が一体となったものである。そのためには建設終了後には、研究に対して十分な資金をつぎ込むことが重要で~~が措置される必要がある。~~また、新しい研究を開発するためには施設の持つ潜在能力を十分に活用するためには、施設側においても高度の開発活動が必要であり、そのための資金も重要である。また、施設の利用可能性を開拓するような研究や、施設の性能の高度化を目指した研究開発を実施し高いポテンシャルを獲得することが重要である。これらのものはどれが欠けても、計画の意義が損なわれる恐れがある。

文科省

文科省

研究費にも目的として違った考え方が必要である。一つは、施設建設を必要とした研究であり、早期にこの研究が行われることが施設の意義を高めることにな

文科省 | 文科省 |  
る。このための研究資金は従来どおり施設を通して配布されるのが適当である。  
一方、当初は考えられていなかった、新しい研究が開拓・発展することも期待される。このような研究には競争的資金が調和外部資金の導入が適している。効率よく、研究を進め発展させるためにはこれらの二つの研究費の配分ルートが、バランス良くアレンジされていることが肝要である。

文科省  
競争的資金の導入については、加速器という装置を使った研究を対象を限定した制度が競争的資金になじむかどうかについて疑問があること、また、大型研究施設における研究の進展のためには必ずしも競争的資金という制度に限らない様々な形の外部資金の導入が積極的、柔軟になされることが必要であると考えられることから、文言修正をした。

また、この競争的資金は外部資金により、施設を持つ研究所以外の研究所の研究者や大学研究者が研究施設を建設・制作し、それを共用の加速器施設に持ち込むことも可能とすべきである。この資金の中ではさらに、施設の特長を生かしたセレンディピティを期待できる研究についても十分考慮すべきである。まとめると、

- ① 我が国における加速器計画を広く検討し、加速器利用分野ごとの将来も見据え、建設計画を精査し建設予算計画のストラテジーを検討することをはじめ、ひろく我が国の加速器の研究や利用の方針を検討するための委員会を発足させる。
- ② 加速器利用研究をさらに効率よくするために、加速器利用研究の為の競争的資金の枠を拡大する。この資金を用いて、必要な施設に研究者独自の研究施設や実験装置を持ち込むことが、容易に出来るようになることが重要である。